

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	武田 光夫		
居室	西1 - 513		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takeda@ice.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>この「大学院インターンシップ」は、科学技術教育の一環として産業界の協力を得て行う実習研修の就業体験であり、次のような趣旨で行うものである。</p> <p>(1) 研究・技術開発および生産の実際に感心と興味を深め、創造性や自主性を備えた人材の育成を図る。</p> <p>(2) 学問の実際的な応用を体験し、学問の重要性と勉学の意義を再確認する。</p> <p>(3) 研究・技術開発の実際に直面させ、その解決を図る技能を養う。</p> <p>(4) 将来、研究者や技術者として活躍するときの心構えと抱負を養う。</p> <p>(5) 研究・技術開発と経済性、作業と安全とは一体不可分のものであることを体得する。</p> <p>(6) 自己の職業適性や将来設計について考える機会を得て、自主的な職業選択や高い職業意識を身につける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

4月下旬～5月初旬の頃にガイダンスを行う予定（日時等は掲示によって周知）で、その際インターンシップ実施に関する詳細を指示する。履修希望者は必ず出席すること。履修の概要は以下の通りである。

- (1) 原則として博士前期課程1年の夏期休業中に行う。
- (2) 基本的に4週間90時間以上の実習を実施する。
- (3) 履修希望者は、「大学院インターンシップ履修願」を指導教員の了解のもとで専攻主任に提出して許可を受ける。
- (4) 実習先は、本人の希望、実習先の条件、本人に対する教育的効果等を考慮して、教員が決定する。
- (5) インターンシップ終了後に、「大学院インターンシップ報告書」を速やかに提出する。
- (6) インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従わなければならない。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習責任者からの「大学院インターンシップ修了書」と履修者からの「大学院インターンシップ報告書」の内容等を総合し、指導教員と専攻主任の協議のもので成績判定を行う。

【オフィスアワー：授業相談】

随時

【学生へのメッセージ】

社会と直接の接点をもつ最初の貴重な機会となるので、学生であると同時に社会人としての責任や礼儀作法をわきまえた行動が要求されます。そのことを十分に自覚し、研修の実が上がるような行動をしてください。

【その他】

注意事項

インターンシップ実施に関する具体的手続きは、共同研究センターの全面的協力を受けている。具体的事項に関しては同センター担当者の指示に従うように。共同研究センター担当窓口は以下の通りである。

中野喬(客員教授), 本多 武(客員教授), 岩瀬 敬子(事務)

共同研究センター2階201号室

オープン：月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:00

E-mail: intern@crc.uec.ac.jp

Tel: 042-443-5723